

第2章

高齢者等の現状

第2章 高齢者等の現状

1. 高齢者の現状

(1) 人口の推移

本広域連合における総人口は平成18年の27,726人から平成23年では26,741人と5年間で985人(3.6%)減少しています。

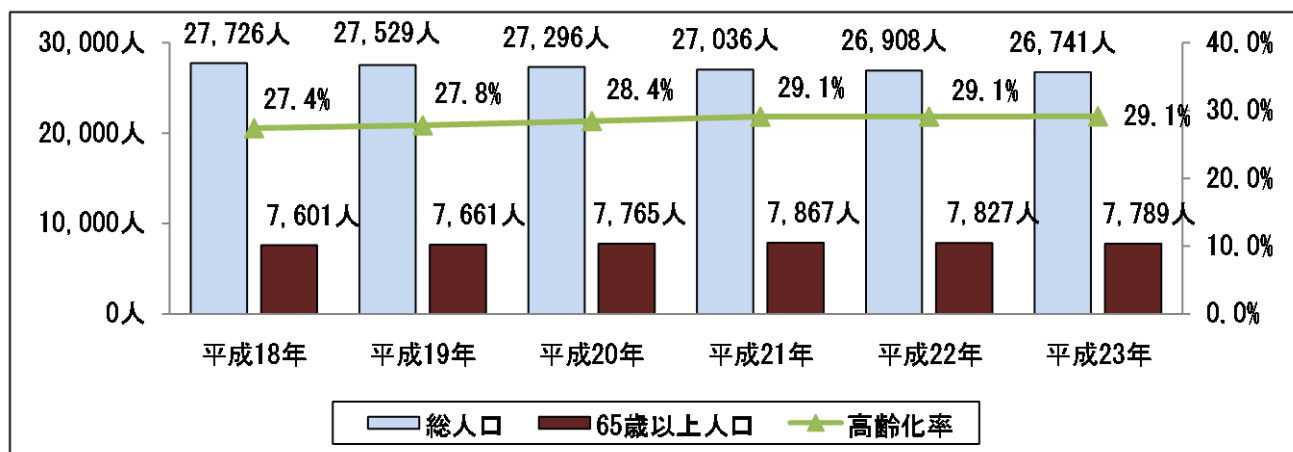
これに対して、65歳以上の高齢者人口は平成18年の7,601人から平成23年では7,789人と5年間で188人(2.5%)増加しています。

構成町村別では、南部町、伯耆町ともに高齢化が進行していますが、日吉津村では、米子市に隣接している地理的条件から転入者が増加したため、総人口が増加傾向にありますので、高齢化率は横ばいとなっています。

■ 総人口と65歳以上人口の推移

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
広域連合	総人口	27,726人	27,529人	27,296人	27,036人	26,908人	26,741人
	65歳以上人口	7,601人	7,661人	7,765人	7,867人	7,827人	7,789人
	高齢化率	27.4%	27.8%	28.4%	29.1%	29.1%	29.1%
南部町	総人口	12,200人	12,123人	12,024人	11,860人	11,751人	11,660人
	65歳以上人口	3,330人	3,367人	3,432人	3,473人	3,484人	3,476人
	高齢化率	27.3%	27.8%	28.5%	29.3%	29.6%	29.8%
伯耆町	総人口	12,346人	12,170人	12,004人	11,866人	11,800人	11,674人
	65歳以上人口	3,546人	3,571人	3,593人	3,634人	3,594人	3,548人
	高齢化率	28.7%	29.3%	29.9%	30.6%	30.5%	30.4%
日吉津村	総人口	3,180人	3,236人	3,268人	3,310人	3,357人	3,407人
	65歳以上人口	725人	723人	740人	760人	749人	765人
	高齢化率	22.8%	22.3%	22.6%	23.0%	22.3%	22.5%

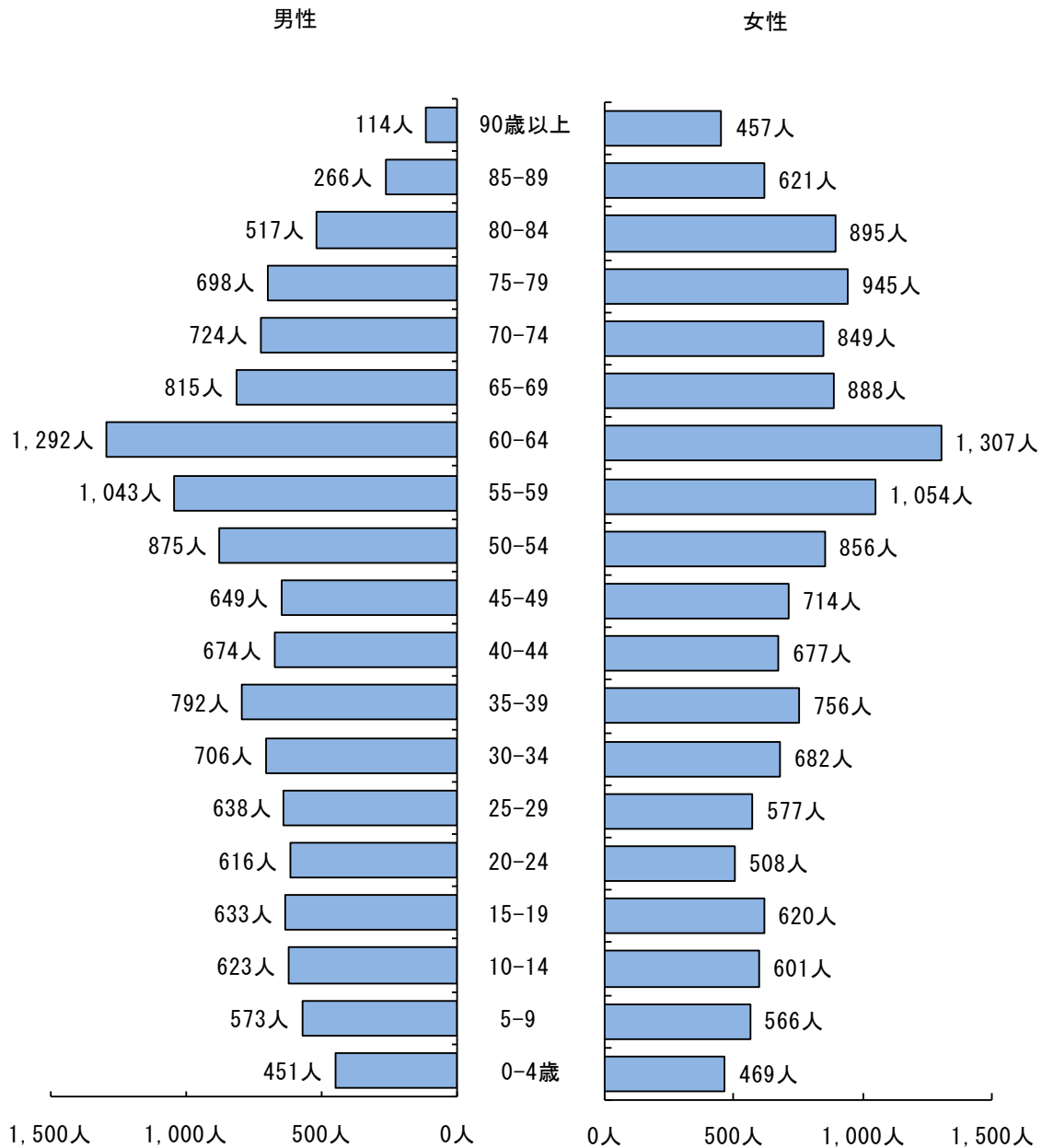
資料：住民基本台帳（各年10月31日現在）



(2) 年齢別人口

平成23年10月31日現在における住民基本台帳の人口構成を5歳階級別にみると、60～64歳の年齢層が最も多い状況となっています。

■ 広域連合の人口ピラミッド



資料：住民基本台帳（平成23年10月31日現在）

(3) 第1号被保険者数の推移

第1号被保険者数は、平成18年の7,635人から平成23年では7,817人と5年間で182人(2.4%)増加しています。

■ 第1号被保険者数の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
65歳～69歳	1,655人	1,627人	1,708人	1,804人	1,780人	1,698人
70歳～74歳	1,806人	1,823人	1,744人	1,679人	1,601人	1,575人
75歳～79歳	1,723人	1,682人	1,686人	1,670人	1,657人	1,644人
80歳～84歳	1,259人	1,294人	1,358人	1,423人	1,413人	1,425人
85歳～89歳	757人	799人	835人	848人	886人	902人
90歳以上	435人	480人	476人	487人	535人	573人
計	7,635人	7,705人	7,807人	7,911人	7,872人	7,817人

資料：被保険者台帳（各年10月31日現在）

(4) 高齢者のいる世帯の状況

高齢者のいる世帯は、平成17年で全世帯数の58.5%であったものが、平成22年には60.4%と増加しています。

また、高齢者単身世帯は7.3%から8.9%、高齢者夫婦世帯は10.2%から12.9%とそれぞれ増加しています。

■ 高齢者のいる世帯数の推移

		平成17年	平成22年			平成17年	平成22年
広域連合	総世帯	8,098世帯	8,191世帯	南部町	総世帯	3,528世帯	3,511世帯
	高齢者のいる世帯	4,736世帯	4,948世帯		高齢者のいる世帯	2,083世帯	2,221世帯
	比率	58.5%	60.4%		比率	59.0%	63.3%
	高齢者単身世帯	594世帯	730世帯		高齢者単身世帯	267世帯	332世帯
	比率	7.3%	8.9%		比率	7.6%	9.5%
	高齢者夫婦世帯	822世帯	1,055世帯		高齢者夫婦世帯	364世帯	460世帯
比率	10.2%	12.9%	比率	10.3%	13.1%		
伯耆町	総世帯	3,652世帯	3,610世帯	日吉津村	総世帯	918世帯	1,070世帯
	高齢者のいる世帯	2,202世帯	2,228世帯		高齢者のいる世帯	451世帯	499世帯
	比率	60.3%	61.7%		比率	49.1%	46.6%
	高齢者単身世帯	275世帯	333世帯		高齢者単身世帯	52世帯	65世帯
	比率	7.5%	9.2%		比率	5.7%	6.1%
	高齢者夫婦世帯	401世帯	502世帯		高齢者夫婦世帯	57世帯	93世帯
比率	11.0%	13.9%	比率	6.2%	8.7%		

※高齢者夫婦世帯とは、夫婦のいずれか、または両方が60歳以上である世帯

資料：国勢調査

2. 要介護(要支援)認定者の現状

(1) 要介護(要支援)認定者数の推移

本広域連合の要介護（要支援）認定者数は、平成18年の1,465人から平成23年では1,528人と5年間で63人（4.3%）増加しています。

また、第1号被保険者数に占める要介護（要支援）認定者数の割合（認定率）については、平成23年10月末現在で19.5%と県平均の20.0%よりやや低くなっています。

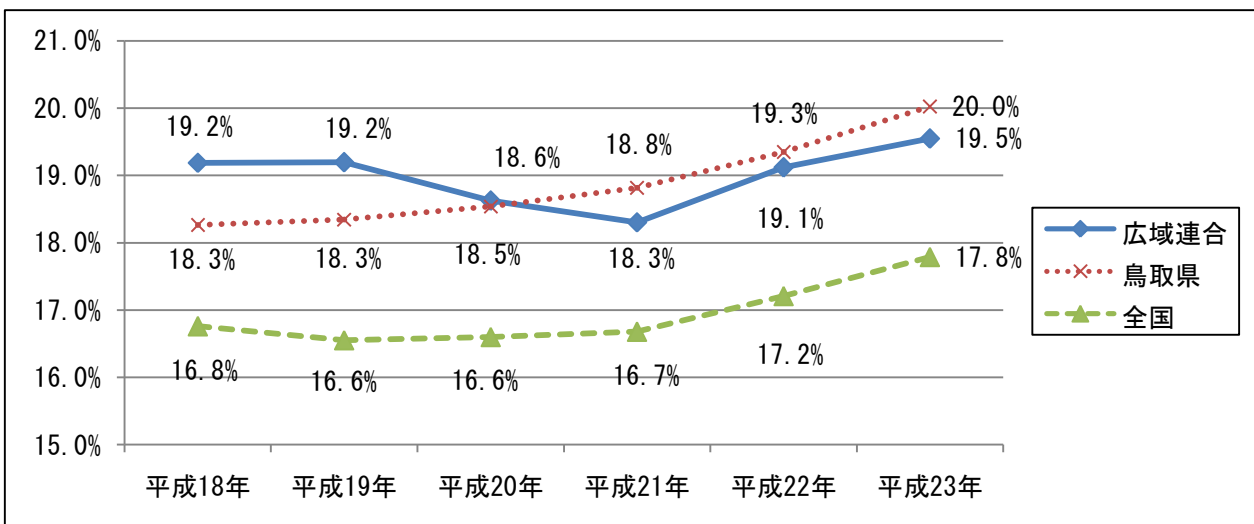
■ 要介護（要支援）認定者数の推移

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
要支援1	128人	142人	125人	119人	119人	100人
要支援2	114人	178人	184人	180人	202人	224人
要介護1	363人	179人	170人	192人	229人	239人
要介護2	244人	289人	284人	264人	275人	278人
要介護3	203人	256人	240人	234人	212人	213人
要介護4	187人	189人	202人	221人	228人	243人
要介護5	226人	246人	249人	238人	240人	231人
計	1,465人	1,479人	1,454人	1,448人	1,505人	1,528人
第1号被保険者数	7,635人	7,705人	7,807人	7,911人	7,872人	7,817人
認定率	19.2%	19.2%	18.6%	18.3%	19.1%	19.5%

※経過的要介護は要介護1として集計

資料：介護保険事業状況報告（各年10月分）

■ 要介護(要支援)認定率の比較



資料：介護保険事業状況報告（各年10月分）

(2) 構成町村別の要介護(要支援)認定者の状況

平成23年10月末時点の構成町村別の要介護(要支援)認定者の状況を見てみると、伯耆町の認定率が21.9%と高くなっています。

要支援では、3町村とも認定者全体に占める要支援の割合はほぼ同じですが、日吉津村の要支援1の割合が13.2%と大きくなっています。

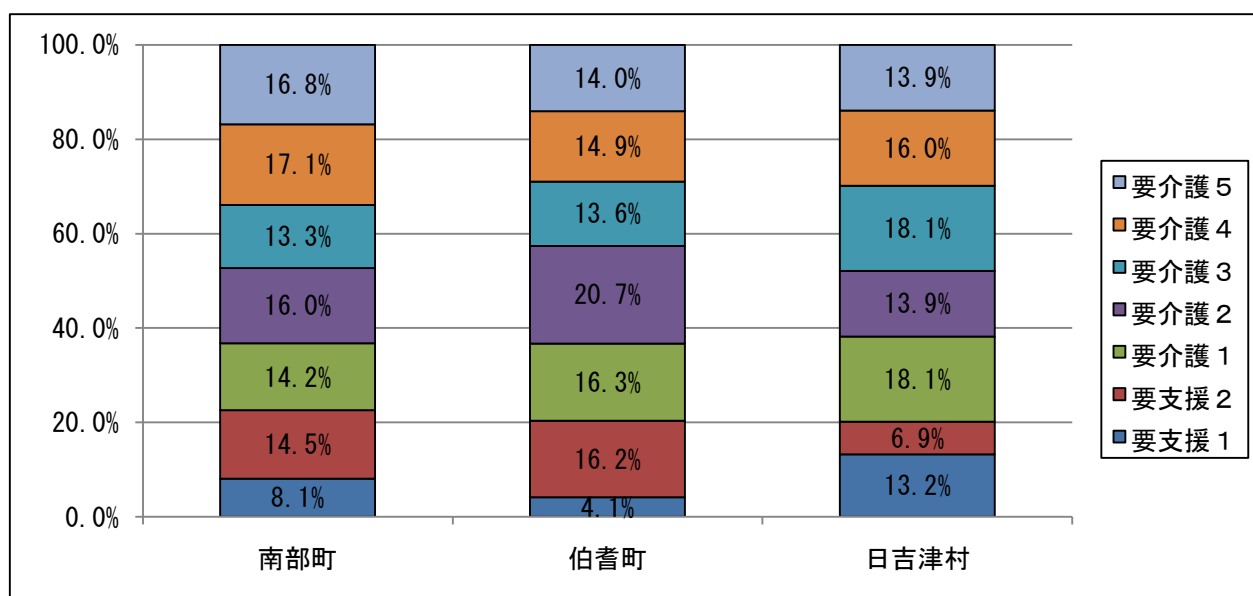
要介護では、伯耆町の要介護2の割合が、20.7%、日吉津村の要介護3の割合が18.1%と大きくなっています。また、南部町の要介護4・5の割合が33.9%と重度者の割合が大きくなっています。

■ 構成町村別要介護(要支援)認定者数

	南部町	伯耆町	日吉津村
要支援1	49人	32人	19人
要支援2	88人	126人	10人
要介護1	86人	127人	26人
要介護2	97人	161人	20人
要介護3	81人	106人	26人
要介護4	104人	116人	23人
要介護5	102人	109人	20人
計	607人	777人	144人
第1号被保険者数	3,471人	3,555人	791人
認定率	17.5%	21.9%	18.2%

資料：介護保険事業状況報告（平成23年10月分）

■ 構成町村別要介護度別割合



3. 日常生活圏域ニーズ調査の概要

(1) 調査概要

1 調査目的

日常生活圏域における高齢者の地域生活の課題を探り、それらの課題を踏まえた介護保険事業計画を策定することが求められています。このため、主に生活機能の面から高齢者の生活状況を把握するための調査を実施し、本計画の適切な作成に向けた指針に係る基礎情報を得ること等を目的としました。

2 調査概要

(1) 調査地域

- ・南部町、伯耆町、日吉津村

(2) 調査対象

- ・65歳以上の高齢者（要支援・要介護認定者を含む。）

(3) 調査対象者数

- ・2,000人（南部町 870人、伯耆町 934人、日吉津村 196人）

(4) 調査項目

- ①家族・生活状況、②運動・閉じこもり、③転倒、④口腔・栄養、⑤認知機能、⑥日常生活、⑦社会参加、⑧健康

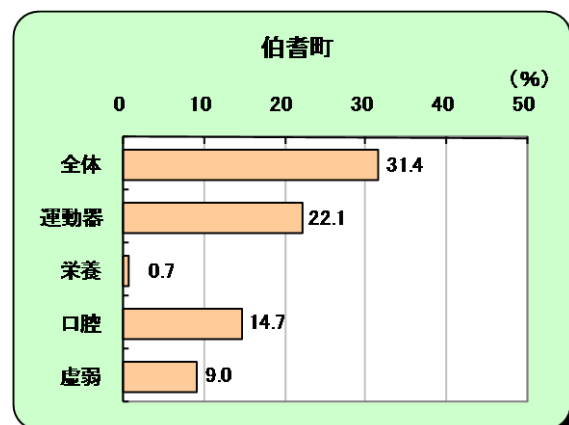
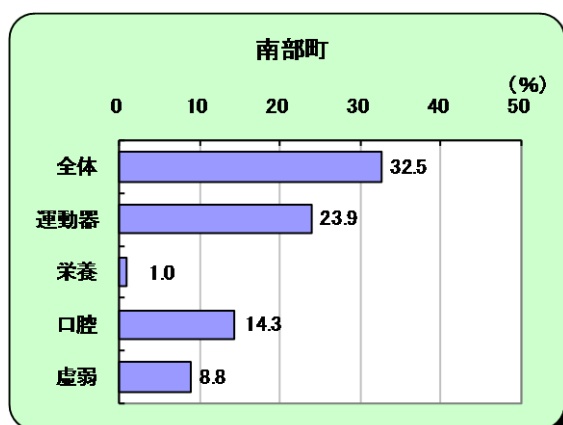
3 回収結果

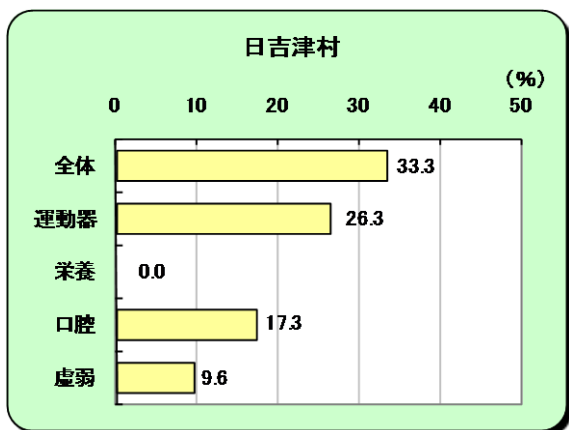
町村	調査対象者数	回答者数	有効回答数	有効回答率
南部町	870人	856人	854人	98.2%
伯耆町	934人	905人	904人	96.8%
日吉津村	196人	191人	191人	97.4%
総数	2,000人	1,952人	1,949人	97.5%

(2) 結果の概要

1 生活機能

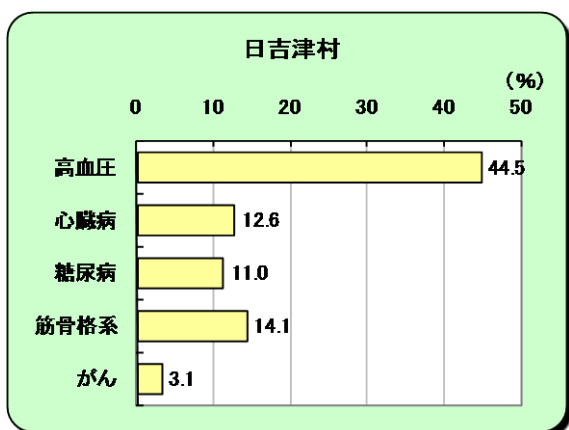
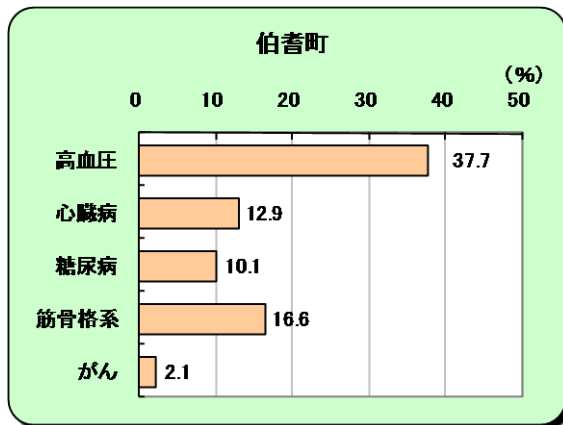
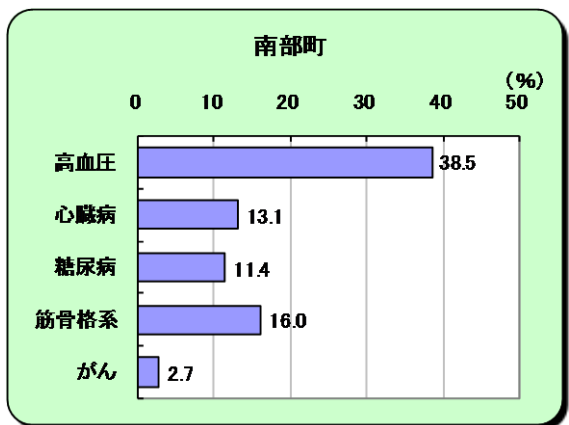
- 各地域別に、基本チェックリストによる運動、口腔などの個別項目ごとの該当者割合をみたのが下の図表となっています。
- 二次予防事業の該当者割合が最も高いのは日吉津村で、運動器、口腔とも他の2地域より該当者割合が高くなっています。





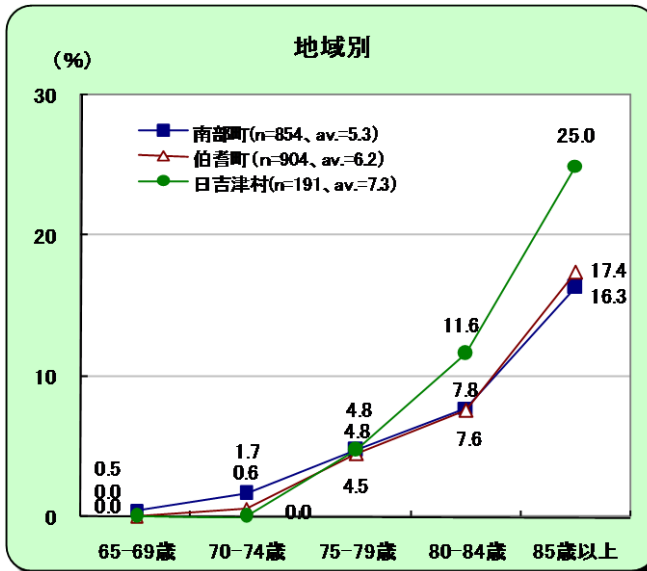
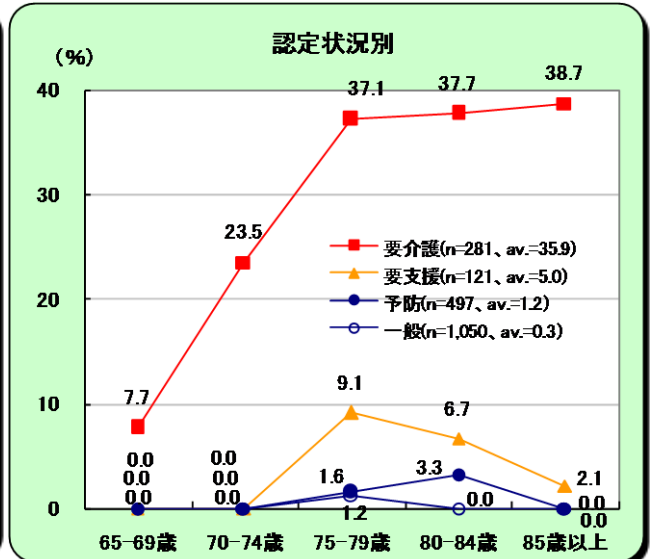
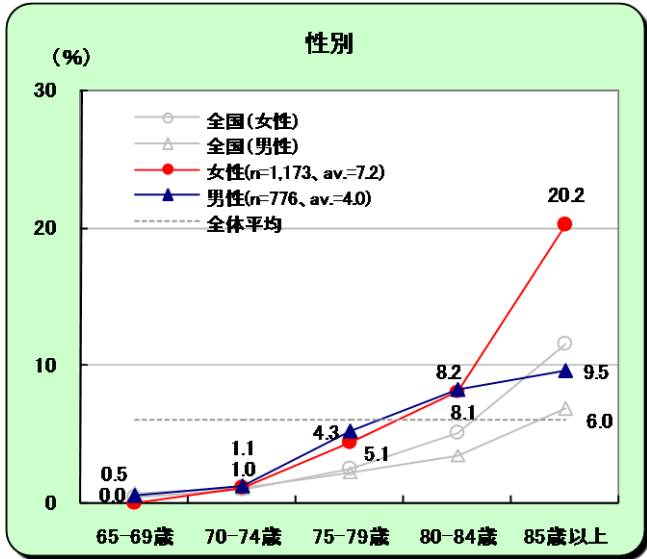
2 疾病

- 主な疾病の有病率を地域別にみると、高血圧の有病率は日吉津村が他地域より高くなっている一方、筋骨格系疾患では、南部町や伯耆町の有病率が高くなっています。
- 背景には、地域ごとに異なる生活習慣等の違いがあると考えられるため、健康教室や介護予防教室の開催にあたっては、そうした地域の特徴を踏まえた教室の内容とし、要介護の原因となる疾病の予防につなげる必要があります。



3 認知症

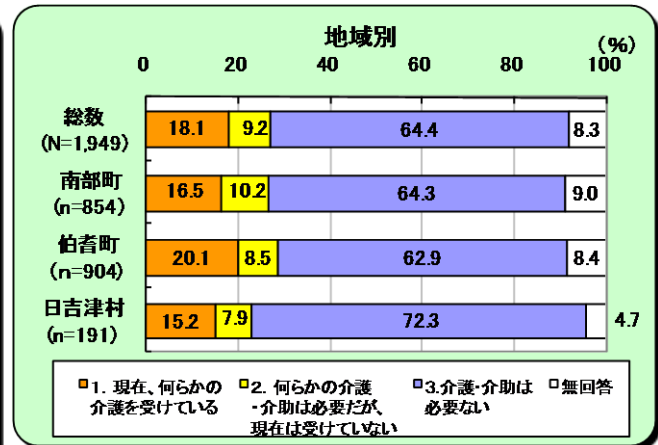
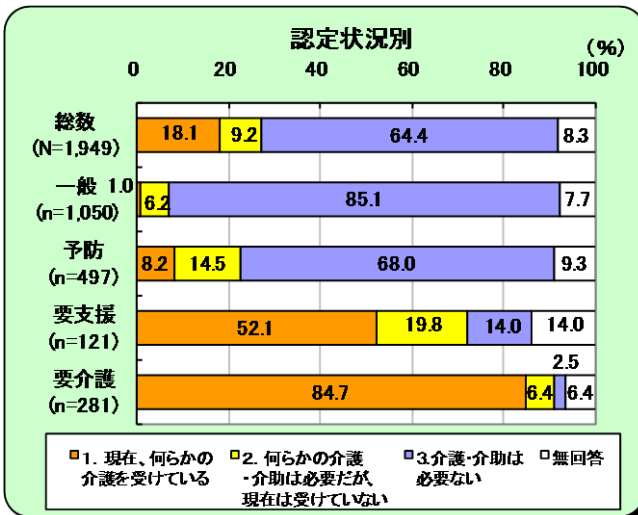
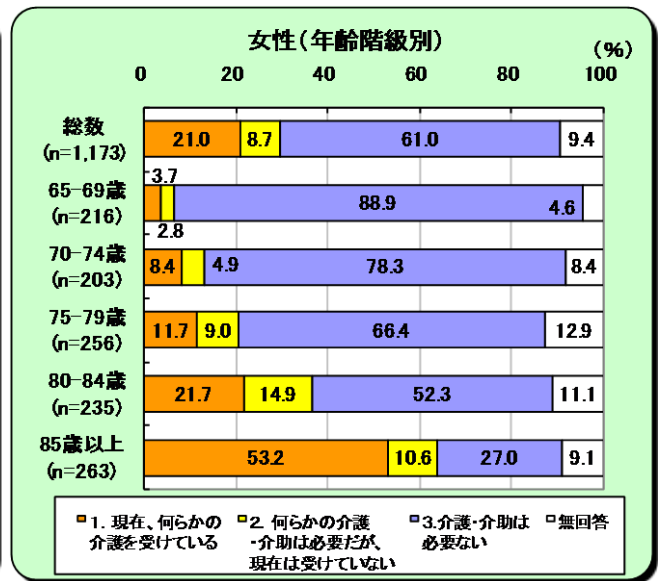
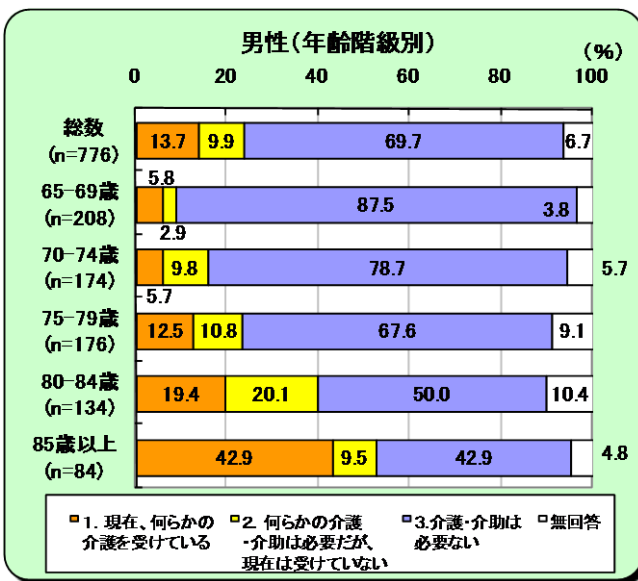
- 要介護原因の上位に位置する「認知症」の既往率をみると、全体で 6.0%、男女別では男性 4.0%、女性 7.2%と男性より女性のほうが高く、また年齢が上がるほど既往率が高くなる傾向がみられます。
- 認定状況別にみると、既往率が最も高いのはやはり要介護認定者（35.9%）で、次いで要支援認定者（5.0%）、二次予防対象者（1.2%）、一般高齢者（0.3%）の順となっています。
- 地域別にみると、既往率が低いこともあり、各地域で大きな差がない結果となっています。



4 介護の状況

(1) 介護の必要性

- 介護の必要性に関する設問の回答をみると、年齢が上がるほど「介護を受けている」「必要だが現在は受けていない」の割合が高くなっています。
- これを認定状況別にみると、要介護認定者の84.7%、要支援認定者の52.1%が「介護を受けている」と回答しているほか、二次予防対象者では8.2%が「介護を受けている」、また14.5%が「必要だが現在は受けていない」と回答しています。一方で、要支援認定者の14.0%、要介護認定者の2.5%は「介護・介助は必要ない」と回答しています。
- 地域別では顕著な差はみられません。



(2) 介護者

- 「介護を受けている」と回答した高齢者の介護者は、「息子・娘」(39.8%)、「息子・娘の配偶者」(32.7%)、「配偶者」(28.7%)が比較的多くなっています
- 介護者の年齢は、42.0%が「65歳未満」で最も多く、次いで「65～74歳」(18.2%)、「75～84歳」(17.0%)、「85歳以上」(8.2%)となっています。いわゆる老老介護が全体の半数近くになっていることがわかります。

